

事業効果の発現状況

基幹事業（道路）

A1-4 国道301号(湖西市 こさいし 大知波 おおちば)

国道301号は、浜名湖西岸を周遊する幹線道路であり、
県道豊橋大知波線との交差点である「多米峠入口交差点」
は、愛知県豊橋市方面と浜名湖周辺地域とを結び、両地域
を交流する車両が集中する交通の要所となっている。

このため、両地域の交流の活性化及び周辺地域の安全性
の向上を図るため、多米峠入口交差点の改良（右折レーン
の延伸・交差点のコンパクト化）及び歩道整備を行った。



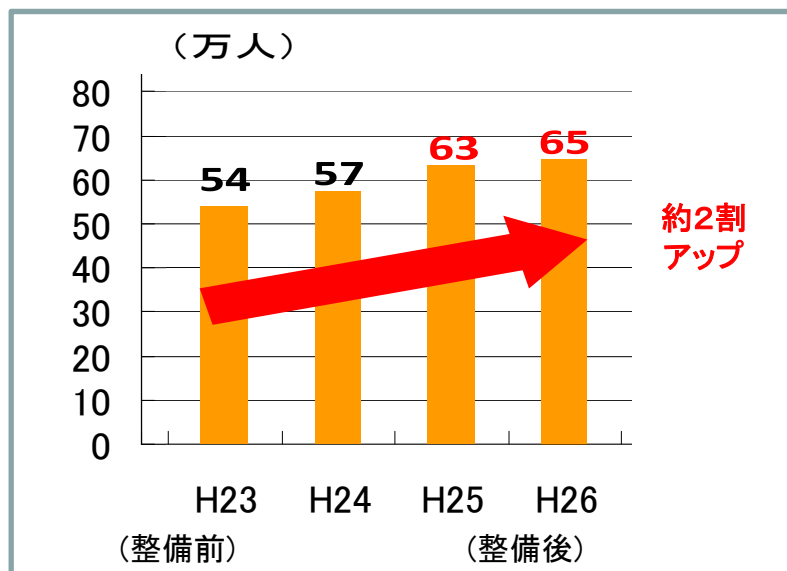
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

定量的指標への貢献度

(国)301号の整備により、湖西市内の観光拠点へのアクセスが向上し、新居の関所をはじめとする観光施設への来場者数が増加

【湖西市の観光交流客数の推移】



【新居の関所】



愛知静岡交流圏域の入込観光客数の増加に大きく貢献！

事業効果の発現状況

基幹事業(港湾)

A1-13 清水港(折戸親水緑地)(静岡市清水区折戸)

A1-14 清水港(三保小型船棧橋)(静岡市清水区三保)

日本三大美港にふさわしい景観を創出するための緑地や小型船係留施設整備を行いました。良好な港湾環境が形成されたことにより、人を集める魅力が向上し、結果として、交流圏の活性化に寄与しました。

着手前の課題



完成後



着手前



完成後



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

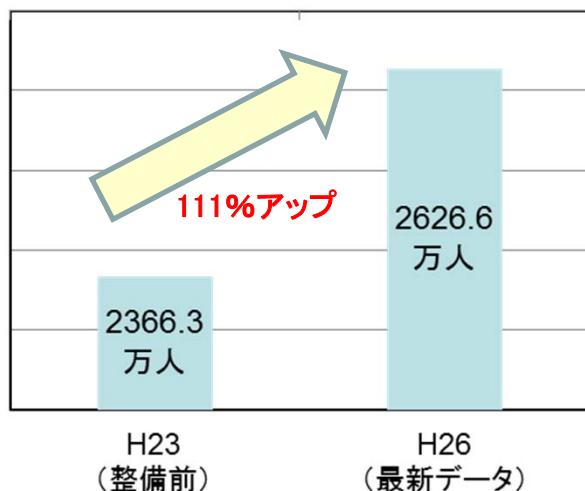
定量的指標への貢献度

港湾整備による定量的指標(愛知静岡交流圏域の入込観光客数の増減率)への貢献度

- ・拠点施設周辺の景観向上に市と連携して取り組むことにより、観光地としての魅力が向上し、当該エリアの入込観光客数は順調に増加している。
- ・観光客増に向けた新たな取組の一つとして、自転車と一緒に乗れる水上バスの運行が開始され、観光客の利便性向上が図られている。当該事業で整備した折戸親水緑地を、清水港内を周遊するサイクリングロードの立寄り地としてPRしており、観光客が訪れる新たなスポットとなっている。

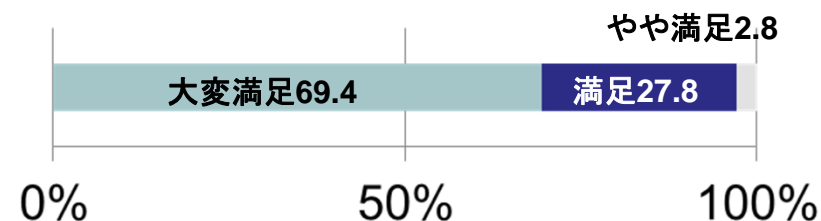
【来場者数の推移】

入込観光客数(静岡市)



【満足度調査の結果(三保松原)】

総合満足度(%)



拠点施設(三保松原)で行った、今いる観光地域での満足度調査では、「どちらでもない」、「やや不満」、「不満」、「大変不満」のいずれの回答もなく、回答者の100%が満足をしたという結果となった。

港湾整備が、愛知静岡交流圏域の入込観光客数の増加に大きく貢献！

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

事業効果の発現状況(例)

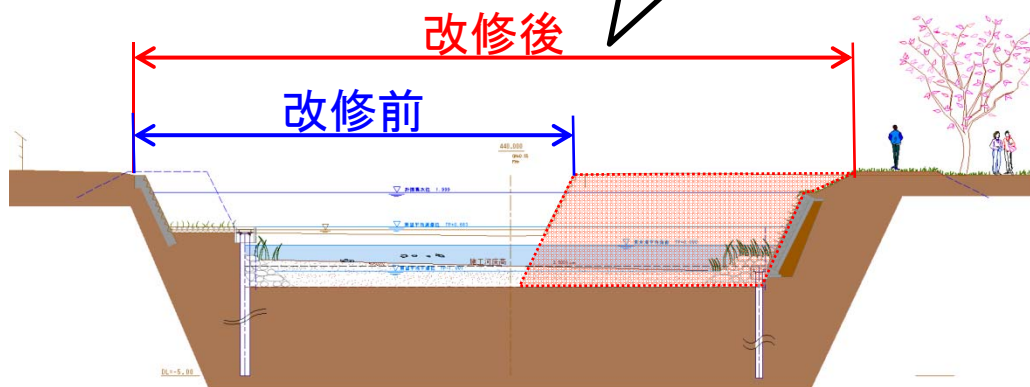
基幹事業(河川)

A1-6 (二)黒石川(焼津市小川)

港町“やいづ”の最も人口・資産の集積が顕著な地区を流域に持つ黒石川の河川改修を行うことにより、焼津漁港周辺の観光地を含む全体の魅力向上を図っている。

(二)黒石川(焼津市小川)

河川の改修により
川幅が広がります。



完成後



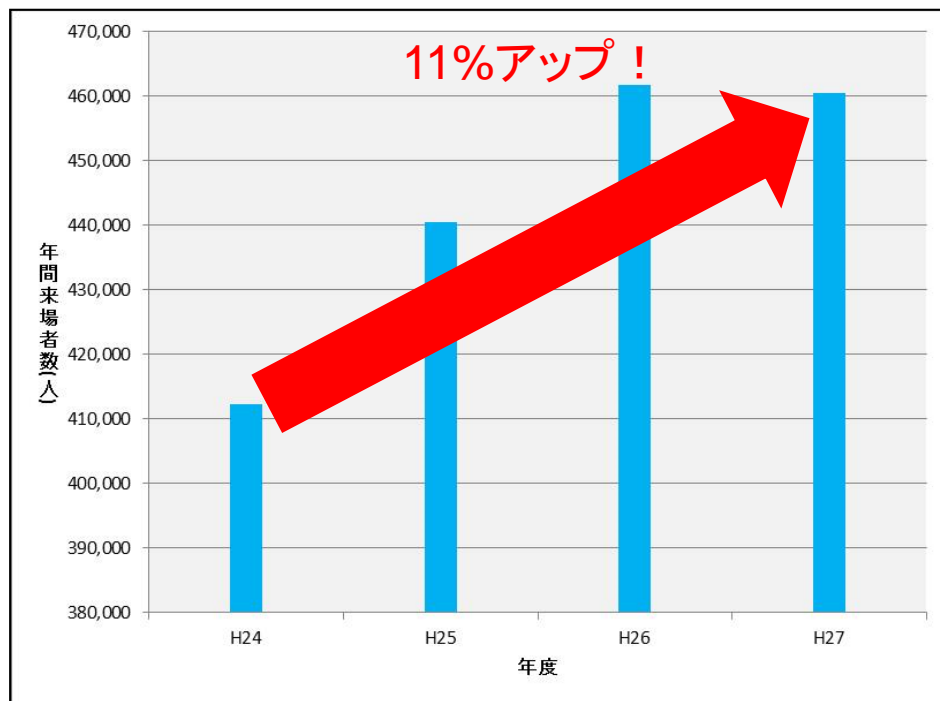
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

定量的指標への貢献度

- (二)黒石川の護岸改修により、流域の治水安全度が向上し、黒石川周辺の施設やイベントの来場者数・参加者数が平成24年度から増加傾向にある。

【来場者数の推移】



【黒石川周辺施設・イベント】



うみえ〜る焼津、焼津みなとまつり、焼津海上花火大会年間来場者数

河川整備による治水安全度の向上や河川の周辺環境の改善が
愛知静岡交流圏域の入込観光客数の増加に貢献！

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

事業効果の発現状況

湖西海岸

B1-1 湖西海岸(湖西市白須賀):堤防改良工L=600m

湖西海岸のうち周辺の堤防に比べて堤防高が低く、高潮に対する計画堤防高を満たしていない箇所について、堤防嵩上げを実施し、越波・浸水被害から守ることにより、安心・安全な観光施設エリアが構築され、拠点全体の魅力が向上した。

着手前の課題



完成後

